

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立小松小学校

児童数

112名

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
男子	16.06	18.96	32.75	35.44	42.91	9.60	146.42	20.02	50.20
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
女子	15.79	16.67	38.22	34.94	31.94	9.92	139.88	11.54	51.64

結果の概要

男子では「握力」以外、女子では「握力」と「長座体前屈」以外の項目は、全国平均を下回った。特に「反復横跳び」と「20mシャトルラン」については全国平均よりも大きく下回っていることが分かった。しかし、昨年度の本校の記録と比較すると、女子は「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」の項目では上回っている。

「体力合計点」については、全国よりも男子は2.33点、女子は2.28点下回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」で、最も肯定的回答は男子が70.2%、女子は55.6%となり、全国と比べ男子は2.8%下回ったが、女子は0.8%上回った。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」では、全国平均を男子は2.5%、女子は4.3%上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

運営に関する計画の「健康や体力を保持増進する力の育成」より、本校の長年の課題である「反復横跳び」を重点的に取り組むように示した。高学年の運動委員会を中心に、「竹馬の日」「なわとび検定」の日を設定して休み時間に取り組んだ。さらに、昨年度から「リズムなわとび」を体育科の授業で取り組めるよう、職員向けて実習を行ったり、運動委員会が中心となって、全校に向けクラスルームを活用し、動画配信を行った。

今後取り組むべきこととして、今年度大きく全国平均を下回った「反復横跳び」（敏捷性）の向上に重点を置いていく。また、「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」が男女共に全国よりも高かったため、「竹馬の日」や「なわとび検定」の引き続き本校の取り組みとして行っていく。